

1. この前、ノアの箱船のお話しをしましたよね。覚えてますか？

それではこの写真は何だと思いませんか？ 実はね、教会の帰り道に撮った写真なんです。教会の帰りに、こんなにきれいな虹が出ていたんだよ。見た人がいますか？

神様はノアさんに、もう二度と洪水で人を滅ぼさないっていう約束の虹を与えてくださいました。先生は教会の帰りにこの虹を見て、「ああ、神様は私たちを愛してくださっているんだなあ」って、実感しましたよ。

今日のお話しは、ノアの箱船のあとのお話しです。助かったノアさんの家族から、どんどん人間は増え広がりました。

2. そして、ノアさんのことを知らない人たちが出てきたのです。

女「ねえ、昔々のことだけさあ、ノアっていう人がいて、大きな箱船を造ったそうじゃないの。」

男「ああ、聞いたことあるなあ。でも、そんなことはもうオイラには関係ないね」

女「そうね、関係ないわね。昔々のお話しね。」

こんなことを言い出す人たちが増えてきたのです。

3. そしてこういう人たちは、毎日毎日面白おかしく生きていました。神様なんて関係ない、自分さえ良ければいいっていう生活をしていたんだね。

4. そしてある時、こんなことを言い出す人が現れました。

「さあ、高い高い塔(タワー)を建てようじゃないか。天まで届くような高い塔だ！ そして俺たちは、神よりも偉くなくてやるのさ！！」

5. こうして人々は大きな塔を造りはじめました。それはどんどん出来ていき、完成するまであと少しという感じです。

6. 作業をする人たちは自分たちが偉くなるために一生懸命です。毎日楽しそうに挨拶をかわしながら、この恐ろしい塔を完成させるために汗を流したのです。

まあこの絵のような会話をしたかどうか知りませんが・・・。

7. しかし、こんな恐ろしい計画を、神様が黙って見過ごすはずがありません。神様はある日、これ以上この塔が造ることが出来ないようにしました。どんな方法だったと思う？

8. 何と、みんなお互いの言葉が通じないようにしたんだよ。朝の挨拶をしても、作業の打ち合わせをしようとしても、その人が何を言っているのか、いったい何を言いたいのか、サッパリわかりません。あれだけ仲のよかった人たちの気持ちは、もうバラバラになってしまいました。

みんな、この字を全部読むことができる？ 日本語と英語と韓国語と中国語ですけどね、今では翻訳っていうお仕事があるから、この意味は分かるんだけど、突然お互いにこんな言葉をしゃべったら、まったく分からないよねえ。

9. 言葉が通じなくなり、気持ちが通じなくなった人々は、塔を造ることが出来なくなり、それぞれチリヂリバラバラ去っていきました。こうしてこの塔は、「バベルの塔」って呼ばれるようになりました。

「バベル」っていうのは、「混乱」っていう意味なんだよ。「混乱」っていうのは、メチャクチャになっちゃったこの人たちの気持ちのことなんだね。

10. 聖書には、こう書いてありますよ。

「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。」 マタイ 6:33

偉くなろうとすることや、もっと便利になろうとすることは、悪いことではありません。むしろ、人間が生きる上で、向上心はとても大切なことですね。でも、一番大切なことを見失ってはいけません。それは、神様を第一にするということです。神様を第一にしてこそ、人間の本当の幸せはあるんですね。

おしまい。